

2019年度 奈良県 PTA 協議会総会 参加報告

PTA 会長 石口嘉美

過日、2019年度 奈良県 PTA 協議会総会に参加いたしました。参加させていただき、昨年度より、県 P 総会が活発に行われていることをしりました。「結ぶ」をテーマに「学校の手伝いの PTA」から「自ら発信していく PTA」、また、会長を頂点としたトップダウン型の PTA 活動ではなく、ボトムアップ型のみinnで協力し築いていく PTA 活動を目指して活動されています。以下、総会の様子を報告します。

◆喜多・県 PTA 会長より

昨年度（2018年）より県内単 P が集まり総会を行っています。

平成 30 年（2018 年）は「結ぶ」をテーマに PTA 活動を推進してまいりました。子供だけでなく、我々大人も、テーマである「結ぶ」をしっかり持っていれば、安心・安全な社会を作れる、との思いで PTA 活動を行ってまいりましたが、残念ながら県内 PTA が 1 つになっていない。昨年奈良市が県 P から脱退いたしました。

昨今、子供が犠牲になる事件が多いですが、犯人の共通点を見ると幼いころから社会との繋がりが少ない環境で育っています。このような人たちを作らない社会作りが必要となってきました。子供の考えを理解するため大人も共に学ぶ場を社会全体で作り、取り組んで行くべき問題ではないでしょうか。みんなで手と手を合わせ、安心・安全な社会を我々 PTA が作っていかなければなりません。今後も PTA 活動にご協力お願いいたします。

◆吉田・県教育長 吉田より

県 P 活動に 12 年関わっていますが、昨年大きく変わりました。それは県内高校の学校規模適正化の推進です。学校規模適正化のアンケート調査では賛成 48%、反対が 13%、分からないが 39%、との結果が出ています。部再編で問題もありましたが、長い目を見た場合、解決しなければならない問題です。また高校の空調設備については、以前は PTA が寄付金などを募り行っていましたが、現在は県の費用で行なっています。その他、トイレの洋式化も行っています。いよいよ学校規模適正化の事業が進んでいきます。今後も学校規模適正化を進めてまいります。

◆田中・県人権教育推進協議会 田中副会長

昨年子供が犠牲になるニュースが頻繁に報道されていました。これらの報道を見ていると、世の移り変わりに問題があるように思います。人権に一番大切なものは「命」です。部落差別やヘイトスピーチなど人権意識の希薄さが問題ともなっています。やはり、人権意識は親の生き方が大きく影響していると思います。人権問題の解決なくして社会の成立はあり得ません。

奈良県 PTA 協議会の活動目標である「子供たちと共に生き、共に学び、子供たちの未来を支援できる保護者となるために、自らの生き方を向上させる研修会、講演会などを積極的に開催

する PTA 活動を推進しよう。」にもあるように、各々が人権の物差しを持ち、命を大切に
社会づくりを目指していただきたいと思います。

◆いじめ防止標語コンテスト表彰。

上牧小学校 宮本さん・斑鳩中学校 1 年 秋山さん

◆感謝状授与式

続いて感謝状の授与式が行われました。

感謝状を授与された方々を代表し、檀原市 PTA の前川慎吾さんが「皆さんが仕事や子育てと大
変忙しい中で PTA 活動を行ってまいりましたが、このような形で感謝状を頂けることは、素直
にうれしく思います。今後も地域として PTA 活動に関わっていただければと思います。ありが
うございました。」とお礼の言葉を述べられました。

- ・ 県知事感謝状授与者：御所市からは有家宗隆さん。山村美津子さん。
- ・ 県教育長感謝状授与者：御所市からは木村順之さん
そして前大正中学校 PTA 会長 仲川久仁子さん

が表彰されました。

午後からは、第 1 回県 PTA 運営学習会が開催され、多くの方々が参加されました。この運営
学習会では<1 部：PTA とは><2 部：パネルディスカッション><3 部：グループワーキング
>が行われました。

<第 1 部>

午前の総会で県 P 会長職を退任された喜多洋三、前県 P 会長より「PTA とは何か」について
お話をいただきました。

PTA とは、昭和 20 年に当時の文部省が発表した「新日本建設の教育方針」から歴史が始まり、
アメリカから派遣された教育の専門家による戦後の日本の教育に関する基本的な方向性を示す、
米国教育使節団報告書によって PTA の設立と普及を推進する方針が掲げられ、文部省を通じて
全国的に PTA の指導、支援を行ったことから広まったそうです。当時の文部省が作成した PTA
結成手引書の中には、PTA の趣旨として、「子供たちが正しく健やかに育っていくには、家庭と
学校と社会が、その教育の責任を分け合い、力を合わせて子供たちの幸せのために努力してい
くことが大切である」と謳われているそうです。

家庭教育の充実を図り、学校と地域と連携して子供たちのために活動する団体として全国に広
まったそうです。

<第 2 部>

県 P 役員の方々が、参加者の事前アンケートに答えるという形で、PTA 活動をする我々の不安

要素に質疑応答して下さいました。我々が直面している問題点など多数の方が参考になったと思います。

<第3部>

グループワーキングを実施。幼稚園、小学校、中学校に分かれ、その中でそれぞれ10人ほどの小グループに分かれディスカッションしました。ディスカッションの議題などは決められておらず、皆さん初対面ということで自己紹介から始めました。最初はぎこちない感じでしたが、皆さん悩んでいることや、疑問に思うことはほぼ同じで、数分後には闊達な意見交換が行えました。

今回初めて参加させていただきましたが、大変良い経験をさせて頂きました。今後のPTA活動に役立てていきたいと思えます。

これからも皆さん方と共に大正中学PTA活動を盛り上げていきたいと思えますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2019.6.15

石口嘉美